

**明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会 第2回 里地里山保全利活用専門部会
議事要旨**

- 1 開催日時：平成 27 年 10 月 1 日（木）午後 3 時 0 0 分～午後 4 時 3 0 分
- 2 開催場所：黒川谷ツ公園内緑農会館
- 3 出席者：[座長]三谷教授
[専門部会委員] 野島委員、市川委員、深澤委員、永江委員
古山委員、久延委員、白石委員、山中委員、高橋委員
（欠席）梶委員、越畑委員
（代理出席）伊藤委員、安藤委員
[事務局] 川崎市みどりの協働推進課 蛭田課長、池田係長、山口主任
コンサルタント（(株)URリンケージ 正司主幹、遠藤副課長、古山主任）

4 議 事：

《主な意見》

（１）竹行燈づくりについて

①11 月 7 日（土）の竹行燈づくりについて

- ・ 11 月 7 日（土）に子供たち 20 名程度に竹行燈を作ってもらうことを企画している。
- ・ 当日子供たちには、（竹の節）1 節半程度の長さのものを作ってもらう予定だ。
- ・ 今回使用するドリルは、大（15 ミリ）中（12 ミリ）小（7～8 ミリ）の 3 種類を予定している。
- ・ 模様を印刷した用紙を配布し、子供たちに好きな模様を選んでもらい、竹に貼り付けて、紙の上からドリルで穴をあけていくというやり方を考えている。注意点は、ドリルで小さい穴から先に開けると紙が破けてしまうため、大きい穴から先に開けてほしい。
- ・ 参加者の子どもたちには、里山の保全利活用を体験してもらうため、竹の切り出しから参加してもらう予定でいるが、竹は大人がチェーンソーで伐採し、子どもたちには竹用のノコギリで、運びやすい大きさにカットしてもらい、運びだしをしてもらう予定。（事務局）
- ・ 参加者の確保については、先日、はるひ野小学校の 5～6 年生とはるひ野中学校の 1 年生にチラシを配布した。現在までに、3 組の申込があった。（事務局）

②10 月 13 日（火）の指導者向け講習会について

- ・ 11 月 7 日にいきなり子供たちの指導をするのは問題があるため、10 月 13 日に指導者やスタッフを集めて、講習会を開催する予定になっている。黒川地域の方に声をかけ、約 13 人の方に指導者として手伝ってもらう。専門部会からは、市川さんや越畑さんに参加していただく予定で、その他に、地元農業者の坂本正さんにも協力を申し出ていただいた。指導者 1 人に対して、2 人の参加者を見ていただく予定である。
- ・ 実際に 1 度作って経験してみて、みんなで問題点や改善点など気づいたことがあれば、当日までに改善していきたい。

- ・指導者向けの講習会は事前に竹を切ってきて農業用管理倉庫前でやろうと考えている。14時に農業用管理倉庫に集合なので、専門部会員の方の中にも、参加できる方は参加していただきたい。
- ・道具類については、10月13日に実施してみて、足りないものや必要なものがあれば、11月7日の本番までに補充する。(事務局)

③その他

- ・地元の人を何回か集めて竹行燈をつくり、竹行燈づくりの活動を存続させていきたいと考えている。大晦日と元日の参拝客に見せるために神社の参道などに飾るのもよいと思う。地域の活性化のため、今後の活動にどのようにつなげていくか、ということも考えていく必要がある。毎年継続できるような形で、地元有志の組織も立ち上げる必要がある。

(2) 里山保全活動体験について

①場所について

- ・里山保全活動体験の場所を決めたいと思う。(事務局)
- ・地元のグループが活動している場所は対象地から除外してほしい。他でできそうな場所があれば、そちらを優先してほしい。
- ・排水所周辺の黒川丸山特別緑地保全地区などでササ刈り体験を実施するのはどうか。(事務局)

②実施時期について

- ・実施する時期は、1月～2月を予定している。(事務局)

③道具について

- ・素人が鎌でササを刈ると斜めに刈ってしまい危険で緑地に入れなくなる。学生にササを刈らせるときには、専用ののこぎりを使う。正味1時間で2㎡くらい刈ることが出来る。
- ・竹用ののこぎりを使用しようと思う。(事務局)

④参加者の募集について

- ・黒川地域だけで参加募集を行うか、ネット上でもう少し広範囲にボランティアの募集を行うのか検討させてほしい。(事務局)

⑤刈り取った後のササについて

- ・刈り取ったササは、廃棄するのではなく、カントリーヘッジというやり方で、木の根の近くに積み上げておく。(事務局)
- ・積み上げるだけだとなかなか腐らないので、移動式のチップパーを使用し、チップ化することも検討してみてはどうか。

以上